

名張市立病院だより

きらり

No.7

発行/名張市立病院 〒518-0481 三重県名張市百合が丘西1-178

■ 0595-61-1100(代表) ■ 0595-64-7999 ■ <http://www.city.nabari.mie.jp/hospital> ■ hp-keiei@city.nabari.mie.jp

基本理念

市民の皆さんに親しまれ信頼される病院を目指します。

基本方針

- ・患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づく良質で安心できる医療を行います。
- ・地域の診療所、病院と連携して、地域医療、救急医療の充実に努めます。
- ・地域に開かれた病院を目指し、ボランティア、学生などを進んで受け入れ、市民との交流を深めます。
- ・公共性と経済性を考慮した健全な病院経営に努めます。
- ・初心を忘れず、日々研鑽し、働きがいのある明るい病院を創造するよう努めます。



街から見上げた市立病院 (撮影: 臨床検査室 中西 徹)



当院の2階病棟は脳神経外科と
外科の病棟です。病床数はN.C.U
(脳疾患の集中治療室 5床、I.C.U
(外科の集中治療室 3床を含
めた54床で外科的治療が必要な患
者さまが主に入院されています。
手術後の患者さまの状態は変化



岐阜県出身のわたしですが、縁
あってこの名張で、平成9年の当
院開院以来、言語聴覚士として勤
務しています。当初は名張の方言
がわからなかつたり、アクセント
の違いに戸惑つたりしましたが、
今ではすっかり慣れて少し使える
ようになりました。

言語のリハビリを受ける患者さ
まには、脳損傷による失語症、口唇、
舌の動きの低下による発音の障害
などがあり年齢もさまざまですが、
それぞれの症状に応じた計画を立

て、発声練習などを行います。
練習中には患者さまにゆっくり
と自由に話をし、じづらいながらも「たくさん話ができた」という満足
感や「話したい」という意
欲を持つただけるよう心がけ
ています。人生の先輩方から教え
ていただきことも多く、人に歴史
ありのと感じることもしばしば
あります。リハビリは長く、根気のい
りますが、患者さまが少しず
つ言葉を取り戻していく喜びを共
有できることが、わたしにとって
大変嬉しく励みになっています。

きらりな人



リハビリテーション室
言語聴覚士 千田直美

しやすく、患者さまを看護する看
護師も新しい知識や急な病状の変
化に対応できる技術の習得に日々
努力をしています。

スタッフは看護師と看護助手を
含め計28人で看護師は2交代勤務
をしながら、24時間、患者さまの
看護を行っています。看護師の平均
年齢は29歳と比較的若い、既婚率
は30%で、独身者が大半を占め、結
婚適齢期ではありながら看護の魅
力にはまつている?フレッシュな
看護師たちで、とても活気に満ち
溢れた病棟です。2交代勤務とい
うことでも夜勤が16時間と長く、い
くら若いからといって心身の疲
労は大きく、お肌はボロボロ、足
はパンパンになってしまいます。
が、休日などに温泉につかったり、

スポーツを楽しんだりと適度にリ
フレッシュをすること、「また明日
から頑張ろう」と奮起し、元気
いっぱい仕事へのぞんでいます。
わたしたちが考える看護とは、患
者の日常生活の援助や患者さ
まが入院前の健康な状態に少しで
も近づけるようなかわりを常に
行っていくことです。入院生活と
いうのはつらいことや、大変なこ
とも時にはあります。わたしたち
はそんな療養生活を送る患者さま
の気持ちに寄り添い、少しでも安
らぎをもつていただけるようなか
かわりができるよう、そしてこの
病院に入院して良かったと笑顔で
退院の日を迎えていただけるよう
に、スタッフ全員力を合わせ努力
していきたいと思っております。

(2階病棟主任 いおりま)
写真前列中央

お願い



市立病院の救急医療を維持していくために



患者さまの救急対応を地域の医療機関と役割分担

名張市では、基本的に入院が必要になる重症な二次救急患者さまを対象とする市立病院と、比較的軽症な一次救急患者さまを対象とする地域の医療機関や応急診療所とで、救急医療を役割分担しています。

医師や看護師などの負担が増してきています

当院は市内で唯一の救急病院です。そのため、2、3の大きな病院が、交替で救急患者を受け入れている近隣の病院に比べると、医師や看護師などの負担はかなり大きいものとなります。

看護師は、普段は外来業務や手術業務を行っており、交代制で夜間勤務にあたり、救急看護業務や救急の電話対応にあたっています。

また、医師、技師は、朝8時30分から通常の外来や手術、検査業務を行い、引き続き夜間

当直に入ります。夜間の救急業務を終え、翌日はお昼までの勤務となっていますが、特に医師は、業務が多くなため夕方遅くまで勤務が続く場合もあります。

近年の医師不足の中、医師の増員は難しく、医師1人1人の負担が多くなっている状況ですが、現状を維持し、より多くの患者さまの救命を行うため、少ない人数の中で、職員全員精一杯対応をしています。

より多くの患者さまの救命を行うために

市民の皆さまにお願いします。救急の受け入れは、救命治療を優先しますので、より軽症の患者さまには長時間お待ちいただくことがあります。また、より多くの患者さまの救命を行うため、軽症の患者さまは、かかりつけの医院や応急診療所をご利用いただいているます。今後とも、皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

入院と週2回(火・木曜)の夜間・時間外救急を再開



12月17日発行の広報なばりで、お知らせしましたとおり、今年1月から小児科医師が2人となりました。これにより、休止していた小児科の入院受け入れを再開できるようになりました。

また、救急の受け入れについては、平日の時間内救急と、火曜日と木曜日(祝日を除く)の週2回は、時間外(夜間)の救急を再開します。

●新しく就任した小児科医師を紹介します。

1月から小児科に就任させていただきました須藤京子です。神戸女学院の英文学科を卒業したのは25年も前のことになります。医学とは全く違う分野にいたわたしが医師になったのは、自分自身と子供がアレルギー疾患を患ったことがきっかけでした。子供のアトピーはとても重症なもので、なかなか思うような回復ができませんでしたが、どうしても治してあげたい一心で治療法を探し続け、最終的にアメリカのニューヨーク州立大学のドリス・J・ラップ先生による免疫療法と出会い、回復することができました。

このことが契機となり、自分も困っている子供たちの力になりたいと考え、医師になることを目指し、40歳の時関西医科大学に入学しました。

卒業してからは、同附属病院で研修医として2年間勤め、昨年4月に小児科に入局しました。

まだまだ未熟者ですが、須藤診療部長とともに市民の皆さまのお役に立てるようになればと思います。趣味はジャズダンス、ジャズ音楽鑑賞です。どうぞよろしくお願いいたします。



小児科 須藤京子

新しい傷治療に対する考え方

診療室からの

開院以来脳神経外科部長として、当院の発展と地域医療に貢献された平松副院長が、昨年9月に退職されました。これまで脳神経外科には奈良県立医科大学から3人の医師が派遣されていましたが、医師不足のため補充人員がなく、当院2人体制となりました。そのため、本曜は手術日として外来を休診させていただいています。また、緊急手術などの際も外や救急に支障が出る場合があるかもしれません。が、ご理解いただきますようにお願いします。

全国的にも医師不足は深刻です。ただでさえ忠

者一人あたり医師数がア

メリカの10分の1と少な

いのに加え、医療の高度化・専門化のため、地方

の医師が対応せざるを得ず、地域救急の現場では専門外

の医師が対応せざるを得

ず、32時間連続勤務や年間65日待機が常態化

し、地域救急医療の崩壊

が呼ばれています。そこで、市民の皆さまには自己防衛も必要となるますが、最近、傷治療の考え方たが変わってきました。「傷は消毒して、濡らしてはいけない」でしたが、最近は「傷は消毒してはいけない、乾かしてはいけない」といわれています。消毒薬は、よい歯を攻撃するだけではなく人体の細胞も攻撃するため、傷の治療を阻害します。また、

傷の治癒には適度な温潤環境が必要です。消毒薬やガーゼを直接傷につけると痛いだけでなく治癒は遅れます。傷は水道水などきれいな水で洗浄して、傷にひつつかないラップなどのフィルム材で覆って乾燥を防ぐと、痛みが少なく治癒も早いようです。シャワーなどで洗浄して周囲の皮膚を清潔に保つことも重要です。ただし、汚染された傷や深い傷、化膿した場合などは専門的な治療が必要です。ですので、早めに病院へ行く必要があります。「新しい創傷治療」というホームページや書籍でも家庭でできる治療法が紹介されていますので参考にしてください。



脳神経外科部長 井田裕己



信州駒ヶ根での2ヵ月に及ぶ訓練を経て、昨年6月末に日本をたしました。そして、スペイン語の実地研修を終え、8月にアルタベラパス県コパン市にやってきました。現在はNGO(非政府組織)「CARE ケアテマラ」に所属しています。こちらでは、スペイン語のほか、原住民の言葉であるマヤ語や、ケクチ語なども使用されるため、まだ耳が慣れず、何度も聞き返したり、書いてもらったりで、まだまだコミュニケーション

練を経て、昨年6月末に日本をたしました。そして、スペイン語の実地研修を終え、8月にアルタベラパス県コパン市にやってきました。現在はNGO(非政府組織)「CARE ケアテマラ」に所属しています。こちらでは、スペイン語のほか、原住民の言葉であるマヤ語や、ケクチ語なども使用されるため、まだ耳が慣れず、何度も聞き返したり、書いてもらったりで、まだまだコミュニケーション

活動の要請は乳幼児の栄養改善に関して『村落を巡回し母子保健の啓発活動を行う』というものでした。コパンから車でガタガタと石の道を3時間走り、さらに山の上のコミュニティには徒步で数十分かかります。地方都市であるコパンを離れるまつたく別の景色が広がっています。土でできた家に、裸足で駆け回る何人もの子どもたち。他のNGOによって毎月実施されている子どもの体重測定の結果を見せてみると、ほぼ平均以下の数値でした。各家庭の訪問では、肺炎や下痢のサインについて教えてもらおうと、ほぼ平均以下の数値でした。各家庭の訪問では、肺炎や下痢のサインについて教えてもらおうと、ほぼ平均以下の数値でした。各家庭の訪問では、肺炎や下痢のサインについて教えてもらおうと、ほぼ平均以下の数値でした。各家庭の訪問では、肺炎や下痢のサインについて教えてもらおうと、ほぼ平均以下の数値でした。

看護師 川口真理
現在、青年海外協力隊員として中米のグアテマラ共和国にてボランティア活動中

グアテマラより



NGOによって毎月実施されている子どもの体重測定の結果を見せてみると、ほぼ平均以下の数値でした。各家庭の訪問では、肺炎や下痢のサインについて教えてもらおうと、ほぼ平均以下の数値でした。各家庭の訪問では、肺炎や下痢のサインについて教えてもらおうと、ほぼ平均以下の数値でした。各家庭の訪問では、肺炎や下痢のサインについて教えてもらおうと、ほぼ平均以下の数値でした。

カルチャ市の保健センターに移りました。現在は、診察前の血圧や体温測定、ワクチン接種・家族計画のための相談のお手伝いをしています。グアテマラの保健センターというのは、日本の診療所と保健所を兼ねた機能を備えています。わたしのいる施設は出産施設もあります。患者さんは80人近くとかなり多いです。人でごった返した待合室で、大きな声で朝のあいさつをして、患者さんの名前を呼ぶ(間違えてよく笑われます)ことからわたしの1日の活動が始まります。

医療制度の違い、看護師の役割の違いなどに戸惑うことが多いので、たくさんのこと日々学びながらお手伝いをさせてもらっています。

これまで脂肪肝は、アルコレの過剰な摂取が原因のものは肝硬変などとされています。

これまで脂肪肝は、アルコレの過剰な摂取が原因のものは肝硬変などとされています。

非アルコール性脂肪肝といわれたことはありませんか?

診療に関するお問い合わせは

名張市立病院医事相談室へ
■61-1100(内線2158)

非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)とメタボリックシンдро́м



内科医長　わがやま　我山　秀孝

医療制度の違い、看護師の役割の違いなどに戸惑うことが多いので、たくさんのこと日々学びながらお手伝いをさせてもらっています。

これまで脂肪肝は、アルコレの過剰な摂取が原因のものは肝硬変などとされています。

実況中継

コメティカル ほっとらいん

心臓超音波検査装置 が導入されました

臨床検査室長 高橋勝美



最新の心臓超音波検査装置（心エコー装置）が、昨年10月に臨床検査科に導入されました。常に動き続ける心臓の構造や心臓内の血流を観察する場合、従来の装置ではノイズの発生によって鮮明に見えない部分もありましたが、新装置では音響特性の向上した新開発の超音波発生器（アローブ）を用いることにより、ノイズの発生が極力抑えられ、常に良質な画像を得ることができます。また、このような高い解像度を持つた精細画像を解析することによって、心臓の動きや血流の流れなど、様々な心臓の機能を容易に評価することができるようになりました。

さらに、心臓を立体的（3D）に描写できるようになつたのも新しい装置の大きな特徴の一つです。従来の装置では心臓を平面的（断面図）でしか描写できず、立体的に描写し、観察することはできませんでしたが、新装置では心臓をリアルタイムに立体画像として観察することができます。従来の装置の大半の機能を内蔵の記憶装置に保存することによって、検査終了後に必要に応じて、いつでも心臓をさまざまな角度から断面した構造や弁の運動を立体画像として再現することが可能になります。今回、このような高度な機能を備えた最新の心臓超音波検査装置を導入することによって、詳細で信頼性の高い診断情報を医師に提供できるようになりました。

外来診療担当表

平成19年1月1日現在

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科 循環器科	第1診	●山門	山門	山門	山門	●泉	泉	山門	山門	泉	泉
	第2診	倉地	倉地	●倉地	倉地	●田中				黒田	黒田
	第3診	●山中猛成	山中猛成	●山中豊	山中豊	山中猛成	山中猛成	●黒田	黒田	伊藤(神経内科)	伊藤(神経内科)
	第4診	岡本	岡本			岡本		岡本	岡本	●岡本	岡本
	第5診			循環器科医師(*1)	循環器科医師(*1)	山中豊	山中豊	●我山	我山	●我山	我山
	第6診	黒田(*5)	黒田(*5)			堅村(*7)	堅村(*6)	山中(*4)			
泌尿器科・神経内科外来		金井 (泌尿器科)(*4)	金井 (泌尿器科)(*4)			山田 (泌尿器科)(*4)	山田 (泌尿器科)(*4)	佐々木 (神経内科)(*5)	佐々木 (神経内科)(*5)		
外科	第1診	浦田	藤川	竹内	川本又は 安田(*9)	坪内	藤川	竹内	坪内	浦田	藤川
	第2診	坪内		藤川	坪内	竹内		浦田		坪内	
	第3診	藤川									
脳神経外科	第1診	乾		井田		乾				井田	
整形外科	第1診	園田		西田		西田		長倉		長倉	
	第2診	西田		園田		長倉		園田		西田	
小児科	第1診	須藤博明 (予約外来)	須藤京子	須藤博明 (予約外来)	須藤博明 (予約外来)	須藤博明 (乳児検診)	須藤博明 (14時~16時)	須藤京子	須藤京子 (予約外来)	須藤京子	(予約外来)
眼科	第1診	川野拓 (検査)(*3)	川野拓		川野拓 (検査)(*3)	川野拓 (右京(*8))		川野拓 (検査)(*3)		川野拓 (検査)(*3)	
	第2診	右京 (検査)(*3)	右京		右京 (検査)(*3)	川野美知子	川野美知子	右京 (検査)(*3)			

●…初診外来 (*1)…ベースメーカー外来(1.4.7.10月の第3週のみ) (*2)…第1・3・5週のみ (*3)…外来特殊 (*4)…診察室は小児科3診

(*5)…診察室は小児科2診 (*6)…第1水曜以外 診察室は小児科2診 (*7)…第1水曜のみ。診察室は小児科2診 (*8)…第2・4週のみ

(*9)…第1・3週のみ、女性外来

※外来診療担当表は、人事異動などにより変更になる場合があります。あらかじめ名張市立病院医事相談室 0595-61-1100(内線2158)

までお問い合わせください。

■ 世の中は景気拡大が戦後最長となりました
が、実感は薄く、むしろ格差社会が現実のものになりつつある中で、医療を取り巻く環境も大変厳しくなっています。
当院スタッフは、年末年始も救急医療に明け暮れる毎日です。市民の皆さんも健康に留意されるようお願いします。同時に医師不足が深刻化している病院へのご理解をお願いいたします。(T・N)

■ 最近注目を浴びている「デトックス」と呼ばれる健糖法にはまっています。知らぬ間に溜め込んだ毒素を排出し、体が本来持つ力を取り戻す。健康な体や美しい肌を取り戻すというものです。毎日2リットルを目標にお水を飲んだり、リンパマッサージやヨガをしたり、毒素排出効果のある食材を摂る。簡単にできるデトックスライフで健康な体と美しい肌を取り戻しませんか。(A・Y)

先日熊野古道を歩きました。とても嬉しい道のりでしたが、私の親世代の方々がすごく元気に、楽しそうに歩いておられました。年を重ねて、心身ともに健康でいられるのはとても素敵なことです。将来、同じように趣味を楽しめるよう、日々の健康管理に気をつけたいと思いました。(T・N)

受付時間

<予約のないかた>

午前8時30分~午前11時30分

※小児科のみ木曜日午後1時30分~午後4時も受付

<予約のあるかた>

午前8時~予約終了時刻まで

保険証などは

保険証・医療証などは、月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。